

令和8年度 ワークスうしぶせ 地域連携推進会議 会議録

1 日 時 令和8年9月8日（火） 14時30分～16時30分

2 場 所 社会福祉法人あしたか太陽の丘本館4階大会議室、ワークスうしぶせ

3 出席者 5名（地域の関係者等、利用者代表、利用者の家族代表、施設長、施設長代理）

4 会議等経過

(1) 事業報告

施設長が事業報告書及び別添資料を基に、内容を報告する。

(2) 施設見学

居住棟及び作業場を見学する。

5 質疑応答、要望等

【事業報告関係】

特になし

【施設見学関係】

地域関係者 会議に先立ちまして、各施設を見学させていただきました。見学の中では、申し上げたいことが数多くございましたが、すべてをお話ししますと長くなってしまいますので、詳細は割愛します。全体を通して強く感じましたのは、太陽の丘法人全体として、利用者の皆様の現在の状況を踏まえつつ、これから先、利用者ご本人やご家族の希望をどのように実現していくかについて、大変真摯に取り組まれているという点です。その姿勢に、深い感銘を受けました。また、1点だけ皆様と共有し、今後とも一緒に考えていきたいことがあります。それは、利用者の高齢化への対応です。一般社会と同様に、障害福祉の分野でも高齢化が確実に進んでおり、今後、こうした方々への支援をどのように構築していくかが重要な課題になると感じております。これは法人だけで取り組むものではなく、ご家族の皆様とも連携しながら、共に考えていく必要があるテーマであると思った次第です。

利用者家族代表 法人については、様々な施設の違いを知れ、細やかな支援をしてくれていることがわかり安心しました。うしぶせで、生活自立のために支援を受けているが、退所後が心配です。

施設長 退所後、安定した生活が継続できるには、生活面を自分で考え、自分で管理できることが大切で、そのために、利用者と相談しながら、自身の課題を自分で理解して取り組めるように支援しています。

- 利用者代表      今の施設は、職員から声を掛けてくれ、自分のペースでできるので過ごしやすいが、地域での生活は経験がないので、不安を感じている。
- 施設長            知らないことから不安に繋がるので、生活学習会や就職学習会、行事等を通して、色々な体験や情報を提供して、地域生活について理解を深めてもらえるよう取り組んでいます。
- 施設長代理      利用者個々の課題は多様であり、支援内容も異なります。職員がそれぞれを把握するのは大変ではあるが、それに合わせて職員が接することができるように、研修等で支援力向上を図っています。
- 利用者家族代表    細かいことまで知ることができました。また、細部にわたり配慮していただいていることが分かり、本日は参加して良かった。

以上